

平成20年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	地域で生活する障害児（者）の食生活・栄養支援に関する調査研究事業
事業目的	<p>現行の制度においては、地域で生活する障害児（者）に対する食生活・栄養相談について専門的な支援サービスが構築されていないため、食生活、食行動による問題や低体重、肥満などによる生活機能の低下を招いている。そこで、障害児（者）の食生活・栄養支援に関する実態および支援に対するニーズを把握するとともに、障害者の栄養状態、身体状態に応じた適切な食生活等に関する支援を実施し、食生活・栄養支援システムを構築することを目的とした。これは、食生活・栄養支援サービスの見直しに資するものであり、障害児の生活習慣病や生活機能低下を防止し、障害児が健全な成長と活力ある社会生活の実現につながるものである。</p>
事業概要	<p>障害児の身体状況や食環境・生活状況に関する実態および保護者に対する支援ニーズを把握し、児童デイサービス等において、栄養・食生活支援のためのマニュアルを使ったモデル事業を実施した。また、障害児の育ちを支援する観点から、障害児施設から特別支援学級・学校へ通う子ども達に対し食事の個別化が重要とされるが、情報の共有が十分にされていないことが課題となっているため、障害児施設と特別支援学級との連携モデル事業を実施し、情報収集のための連携シート（「栄養・食生活サマリー（案）」）の作成を行い、地域で生活する障害児に対する栄養・食生活の支援体制の今後のあり方を検討した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>管理栄養士・栄養士が利用者、保護者に対して継続的に栄養支援を行うことで、食生活や栄養管理の重要性に対する理解が深まり、食事に関する関心が高まった結果、食行動に変容が見られた。このことは、食育、食の自立に向けた有効な支援となり、障害児の健康とQOLを高めることにつながると考えられる。また、障害児施設と特別支援学級・学校との連携モデル事業では、情報収集のための連携シート（「栄養・食生活サマリー（案）」）および事例を作成した。</p> <p>今後はこれらのマニュアル、連携シート等を活用し、障害児の生活習慣病予防や生活機能低下の予防、QOLの向上に寄与できると考える。</p>
事業主体	<p>〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-39 社団法人 日本栄養士会 TEL : 03-3295-5151</p>